







平成29年7月-9月期・東員町商工会 中小企業景況調査結果（建設業）

売上（請負工事額）のD I値は、前年同期比が50.0と好調であったが、前期比が-25.0、来期見通しも-25.0と減少傾向になっており、厳しい状態となっている。採算（経常利益）のD I値は、前年同期比が±0.0、来期見通しも±0.0と横ばいで推移する見込みである。資金繰りのD I値は、前年同期比±0.0、前期比±0.0、来期見通しも±0.0と大きな変化がなく横ばいで推移していくと見込んでいる。業況のD I値は、前年同期で25.0、前期比も25.0と好調で推移していたが、来期見通しが±0.0と少し悪化していくと思われる。三重県商工会エリア全体のD I値と比較すると、東員町商工会エリアの売上（請負工事額）の前期比と来期見通しが低くなっているが、他の項目等のD I値は高く、東員町商工会エリアの建設業の景況感は三重県全域と比べると良い状態にあると思われる。

東員町商工会エリア	今期（29年7-9月期）の状況				来期（29年10-12月期）の状況		
	項目	前年同期（28年7-9月期）と比較		前期（29年4-6月期）と比較		前年同期（28年7-9月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上（請負工事額）	50.0	好転 快晴	-25.0	減少 雨	-25.0	減少 雨	
採算（経常利益）	±0.0	横ばい 曇り	--		±0.0	横ばい 曇り	
資金繰り	±0.0	横ばい 曇り	±0.0	横ばい 曇り	±0.0	横ばい 曇り	
業況	25.0	好転 快晴	25.0	好転 快晴	±0.0	横ばい 曇り	

三重県商工会エリア	今期（29年7-9月期）の状況				来期（29年10-12月期）の状況		
	項目	前年同期（28年7-9月期）と比較		前期（29年4-6月期）と比較		前年同期（28年7-9月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上（請負工事額）	-26.1	減少 雨	±0.0	横ばい 曇り	-17.4	やや減少 小雨	
採算（経常利益）	-36.4	非常に悪化 豪雨	--		-31.9	悪化 雨	
資金繰り	-17.4	やや悪化 小雨	±0.0	横ばい 曇り	-13.1	やや悪化 小雨	
業況	-26.1	悪化 雨	-14.2	やや悪化 小雨	-39.2	非常に悪化 豪雨	

各項目の評価については次により表示した。

D・I値※	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～ △20.0	△20.1～ △35.0	△35.1～
区分	増加 好転	やや増加 やや好転	横ばい	やや減少 やや悪化	減少 悪化	大幅に減少 非常に悪化
天気図表示	快晴 	晴れ 	曇り 	小雨 	雨 	豪雨 

※D I値は、増加・好転等の割合から減少・悪化等の割合を差し引いた値。

今期直面している経営上の課題については、重要度の高い1位に上がっているのが25.0%で「新規参入業者の増加」と「従業員の確保難」となっている。両項目とも前回の調査においてもトップに位置する項目であり、恒常的な課題として認識されている。三重県商工会エリア全体でも「従業員の確保難」が今期は2位にランクされており、建設業界の人材確保難の厳しさがうかがえる。上位3項目を集計した表が下にあるが、トップは「従業員の確保難」であり、「新規参入業者の増加」、「請負単価の低下、上昇難激化」も、東員町商工会エリアでは重要課題として認識されている。

重要度1位の項目

(%)

東員町商工会エリア	1位					
1位にあげる問題点	新規参入業者の増加、従業員の確保難					
前期/今期	--			25.0		
三重県商工会エリア	1位		2位		3位	
1位にあげる問題点	官公需要の停滞		従業員の確保難		材料価格の上昇、請負単価の低下、上昇難、民間需要の停滞等	
前期/今期	26.3	36.8	0	15.8	--	10.5

重要度1位～3位の項目の集計

東員町商工会エリア	1位		2位	
1位～3位に上がった問題点	従業員の確保難		新規参入業者の増加、請負単価の低下、上昇難	
前期/今期	75.0	50.0	--	25.0